金曜イベントガイド ● いわき市外催しのし・お・り

水戸市・茨城大学図書館 ☎029-228-8076

長久保赤水の世界

・6月18日（土）～7月3日（日）
平日10時～16時、土日11時～17時
・入場無料

た長久保赤水（1717―1801）は、伊能忠敬よりも先に経緯線が入った精度の高い『改正日本輿地路程全図』を製作した。あまり知られていないが世界図や中国図も刊行している。新たに発見された史料をもとに業績を紹介する。6月21日と28日（午後0時20分～）、6月25日と7月2日（同13時～）にギャラリートークがある。

伊能忠敬の前に日本地図を完成

山形市・文翔館前 ☎023-630-2373（県観光立県推進課）

第5回日本一さくらんぼ祭り

・6月18日（土）、19日（日）11時～16時
・無料シャトルバス運行

山形市の中心街にある大通りを歩行者天国にして開く。昨年よりサクランボを増量した「日本一巨大な流しさくらんぼ」をメインに、「さくらんぼのすこだま振る舞い」「さくらんぼ種飛ばしコンテスト」などが開かれる。ほかにサクランボの「高校生スイーツコンテスト」、かっちゅう姿の戦国武将が集う「山形夏の陣」、花笠踊りやご当地グルメ・物産展などもある。

流しさくらんぼ種飛ばしを実施

茨城県美術館 ☎022-221-2111

誕生50周年記念 ぐりとぐら展

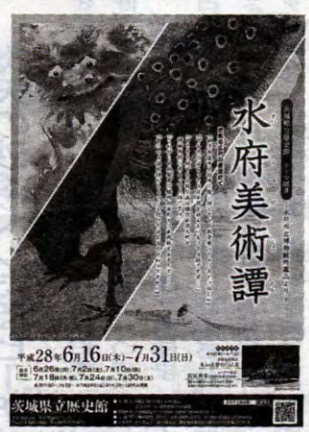
・7月16日（土）～9月4日（日）9時半～17時（入館は16時半まで）
・一般800円、大学生600円、高校生以下無料
・月曜日休館（ただし7月18日と8月8日は開館し、翌日休館）

姉の中川李枝子さんが原作、妹の山脇（大村）百合子が作画をして生まれた双子の野ねずみの物語。今回は原点ともなった初期の作品から海外版まで歴代のシリーズ作品を紹介する。一昨年からいわき市立美術館など全国を巡回し、50万人を超え

海外版も含めてシリーズを紹介

水戸市美術館

・6月16日（木）～7月31日（日）9時半～17時（入館は16時半まで）
・一般150円、大学生80円、高校生以下と70歳以上は無料
・月曜日休館（祝日の場合は翌日）



転じて水戸藩をさす言葉として使われてきた。今展では「春江漁舟図」「花鳥図」を描いた立原杏所（子孫に詩人の立原道造がいる）ら水戸藩士をはじめ、狩野派系の御用絵師、中国からの亡命僧ら、江戸期の水戸で活躍した画人の作品を展示する。6月26日から7月30日までの土曜・日曜・祝日に、6回にわたり展示解説が行われる。

立原杏所ら水戸の近世絵画紹介

茨城県大子町・袋田の滝 ☎0295-72-0285（大子町観光協会）

大子OYAKI バトルロワイヤル

・6月12日（日）10時受付開始
・当日先着50カップル限定

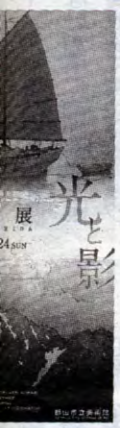
袋田の滝が昨年10月「恋人の聖地」に選ばれ、このほど完成した町の鳥オシドリをモチーフにした聖地のモニュメント除幕式開催に合わせて企画。午前10時から先着50組（夫婦も可）に整理券を配布。正午から整理券と引き換えに大子町の名物〝おやき〟を手渡す。司会者の合図で一斉におやきを開封し、当たったカップル1組に2泊3日の台湾旅行をプレゼントする。

50分の1確率で台湾旅行当たる

茨城県立美術館 ☎024-956-2200

生誕140年 吉田博展

・6月4日（土）～7月24日（日）9時半～17時（入館は16時半まで）
・一般800円、高校／大学生500円、中学生以下／65歳以上無料
・月曜日休館（祝日のときは翌日休館）



福岡県久留米市で生まれた洋画家・吉田博（1876―1950）は〝絵の鬼〟と呼ばれるほど鍛錬を積み、何度も海外に渡って油彩・水彩・木版と幅広く〝日本人が描いた洋画〟で世界に挑み続けた。今回は彼の画

作者の自然への思い濃密に描写